

座標平面において、曲線 $C : y = (x - 2)^2$ と、 C 上の点 $A(2, 0)$ を通る傾き a の直線 ℓ を考える。ただし、 $a > 0$ とする。曲線 C と y 軸および直線 ℓ で囲まれた図形を D_1 とし、曲線 C と直線 ℓ で囲まれた図形を D_2 とする。 D_1, D_2 を y 軸のまわりに 1 回転してできる立体の体積をそれぞれ $V_1(a), V_2(a)$ とする。以下の各間に答えよ。

- (1) 曲線 C と直線 ℓ の交点のうち、点 A と異なる点の座標を a を用いて表せ。
- (2) $V_1(a)$ および $V_2(a)$ を求めよ。
- (3) $V(a) = V_1(a) - V_2(a)$ とする。関数 $V(a)$ の極値を求めよ。
- (4) $0 < a < 2$ のとき、図形 D_1 を x 軸のまわりに 1 回転してできる立体の体積を a を用いて表せ。

(25 茨城大 理 1)

【答】

$$(1) (a + 2, a^2)$$

$$(2) V_1(a) = \frac{8}{3}(a+1)\pi, V_2(a) = \left(\frac{a^4}{6} + \frac{2}{3}a^3\right)\pi$$

$$(3) a = 1 \text{ で極大値 } \frac{9}{2}\pi$$

$$(4) \left(\frac{2}{15}a^5 + \frac{32}{5}\right)\pi$$

【解答】

$$C : y = (x - 2)^2$$

- (1) C 上の点 $A(2, 0)$ を通る傾き a ($a > 0$) の直線 ℓ の方程式は

$$\ell : y = a(x - 2)$$

である。 C と ℓ の交点の x 座標は

$$(x - 2)^2 = a(x - 2)$$

$$(x - 2)(x - 2 - a) = 0$$

$$\therefore x = 2, 2 + a$$

よって、点 A と異なる交点の座標は

$$(a + 2, a^2) \quad \dots\dots (\text{答})$$

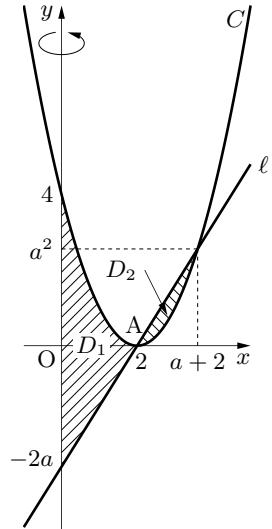
である。

- (2) $y = (x - 2)^2$ を x について解くと

$$x = 2 \pm \sqrt{y}$$

となる。 D_1, D_2 を y 軸のまわりに 1 回転してできる立体のそれぞれの体積 $V_1(a), V_2(a)$ は

$$\begin{aligned} V_1(a) &= \frac{1}{3}\pi \cdot 2^2 \cdot 2a + \pi \int_0^4 (2 - \sqrt{y})^2 dy \\ &= \frac{8}{3}\pi a + \pi \int_0^4 (4 - 4\sqrt{y} + y) dy \\ &= \frac{8}{3}\pi a + \pi \left[4y - \frac{8}{3}y^{\frac{3}{2}} + \frac{y^2}{2} \right]_0^4 \\ &= \frac{8}{3}\pi a + \pi \left(16 - \frac{64}{3} + 8 \right) \\ &= \frac{8}{3}\pi a + \frac{8}{3}\pi \\ &= \frac{8}{3}(a + 1)\pi \end{aligned} \quad \dots\dots (\text{答})$$



$$\begin{aligned}
V_2(a) &= \pi \int_0^{a^2} (2 + \sqrt{y})^2 dy - \pi \int_0^{a^2} \left(\frac{y}{a} + 2 \right)^2 dy \\
&= \pi \int_0^{a^2} (4 + 4\sqrt{y} + y) dy - \pi \left[\frac{a}{3} \left(\frac{y}{a} + 2 \right)^3 \right]_0^{a^2} \\
&= \pi \left[4y + \frac{8}{3} y^{\frac{3}{2}} + \frac{y^2}{2} \right]_0^{a^2} - \frac{a\pi}{3} \{(a+2)^3 - 8\} \\
&= \pi \left(4a^2 + \frac{8}{3} a^3 + \frac{a^4}{2} \right) - \frac{a\pi}{3} (a^3 + 6a^2 + 12a) \\
&= \left(\frac{a^4}{6} + \frac{2}{3} a^3 \right) \pi \quad \dots\dots(\text{答})
\end{aligned}$$

である。

(3) (2) より

$$\begin{aligned}
V(a) &= V_1(a) - V_2(a) \\
&= \frac{8}{3}(a+1)\pi - \left(\frac{a^4}{6} + \frac{2}{3}a^3 \right) \pi \\
&= \left(\frac{8}{3} + \frac{8}{3}a - \frac{2}{3}a^3 - \frac{a^4}{6} \right) \pi
\end{aligned}$$

であり

$$\begin{aligned}
V'(a) &= \left(\frac{8}{3} - 2a^2 - \frac{2}{3}a^3 \right) \pi \\
&= -\frac{2}{3}(a^3 + 3a^2 - 4)\pi \\
&= -\frac{2}{3}(a-1)(a+2)^2\pi
\end{aligned}$$

である。 $a > 0$ における $V(a)$ の増減は下表となる。

a	(0)	\dots	1	\dots
$V'(a)$		+	0	-
$V(a)$		↗		↘

よって、 $V(a)$ は

$$a = 1 \text{ で極大値 } \frac{16+16-4-1}{6}\pi = \frac{9}{2}\pi \quad \dots\dots(\text{答})$$

をとる。

(4) ℓ を x 軸に関して対称移動した直線 $y = -a(x-2)$ と y 軸の交点の座標は $(0, 2a)$ である。

$0 < a < 2$ より、 $0 < 2a < 4$ であり、図形 D_1 を x 軸のまわりに 1 回転してできる立体は、右図の斜線部分を x 軸のまわりに 1 回転してできる立体と一致する。

よって、この立体の体積は

$$\begin{aligned}
&\pi \int_0^{2-a} (x-2)^4 dx + \frac{1}{3}\pi(a^2)^2 \cdot \{2 - (2-a)\} \\
&= \pi \left[\frac{(x-2)^5}{5} \right]_0^{2-a} + \frac{a^5}{3}\pi \\
&= \pi \left(-\frac{a^5}{5} + \frac{32}{5} \right) + \frac{a^5}{3}\pi \\
&= \left(\frac{2}{15}a^5 + \frac{32}{5} \right) \pi \quad \dots\dots(\text{答})
\end{aligned}$$

である。

